

『活き活きと働けて、工賃アップとなる仕事を提供するため』

NPO法人北九州小規模連
北九州共同受注センター

田中 吏恵

障害者就労施設での仕事に関する様々な課題を解決するために、北九州市の助成を受けて「北九州共同受注センター」が平成27年7月1日付けで設立されました。

官公需と市内の障害者就労施設を結びつけることで安定的で良質な仕事を確保し、施設で働く障害者がいきがいのある自立した社会生活を送れるようにすることを最終目的とします。具体的には利用者の工賃アップ、利用者の仕事に対するモチベーションアップを目指します。

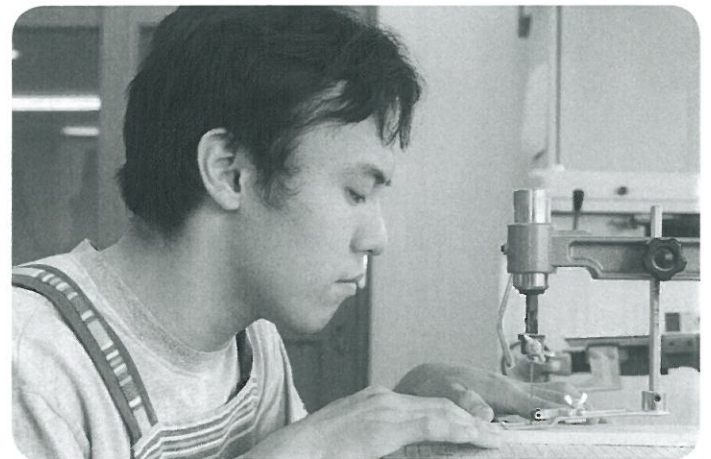
人員不足や営業活動の時間が取れないなどの障害者就労施設が抱えている課題を一つでも解決すべく、設立初年度である本年度は三つの活動を重点的に行っています。

① 広報営業活動

行政や企業などへ営業活動を行っています。障害者就労施設の商品や役務サービスなどをもっとよく知ってもらい、今後に繋げていけるような仕組み作りをしています。また、受注できる商品・業務の量を増やすため、多くの施設の参加が必要となります。北九州共同受注センターの役割を理解して頂き、参加して頂けるように個別訪問や説明会を開催しています。現在、市内47施設が登録をしています。障害者就労施設に代り、ホームページや広報紙などで幅広く北九州共同受注センターの活動を広報しています。

② 受注業務を登録施設の状況に応じて分配

北九州共同受注センターが中心となって複数の施設へ仕事を分配しています。単独の施設では受注できない大量の受注が複数の施設に作業を振り分ける事で可能となりました。また、可能な限り作業を分割して、施設の状況に応じて



分配しています。施設が選択して対応可能な作業を実施できるため受注の幅が広がりました。

③ 施設への仕事情報や市場の動向など幅広い情報の提供

受注した仕事は全てメールリクエストを利用して、登録施設に情報を提供しています。業務以外の仕事に関わる情報についても提供しており、情報の発信先として福祉関連に留まらず幅広い情報発信を行っています。また、定例会・勉強会として、商品のラッピング、

販売員としての知識、商品販売のレイアウトなど、専門家を講師として呼びびし、施設ですぐに実践できるような業務向上を目指しています。

本年度はまず動いてみることを前提とし、来年度は今年度の活動をより活発にしながら、障害者就労施設のより良きパートナーとしての活動を目指していきます。

